

学びのドリームプラン 海田東小学校

第5学年2組 国語科

単元名：海田町に息づく「世界人『織田幹雄』」を紹介しよう
「手塚治虫」

指導者 東 真由美

児童の願い

先輩の学習を引き継ぎ、海田町出身の「日本人初の金メダリスト『織田幹雄』」について多くの人々に知ってもらいたい。



ゴール

織田幹雄の生き方や考え方について学んだことをリーフレットなどにまとめ、「ふるさと館」「秩父宮スポーツ博物館」などの公共施設で配布し紹介する。

学びのモニタリングの視点(育成したい資質・能力)

	A	B
【主体性】	・リーフレットづくりに向けて、集めた情報を整理したり、さらに必要な情報を集めたりして、より深く織田幹雄の生き方や考え方について探究しようとしている。	・リーフレットづくりに向けて、必要な情報を集め、織田幹雄の生き方や考え方を探究しようとしている。
【思考力】	・織田幹雄の生き方や考え方を人との出会いなどの出来事と複数の情報を関連付け、多面的にとらえている。 ・読み手を意識して織田幹雄の生き方や考え方を効果的に伝えるために、読み取った事実を基に考えを明らかにし、見出しや全体の構成の工夫を考えている。	・織田幹雄の生き方や考え方を人との出会いなどの出来事と関連付けて多面的にとらえている。 ・読み手に織田幹雄の生き方や考え方を効果的に伝えるために、読み取った事実を基に考えを明らかにし、見出しや全体の構成の工夫を考えている。
【自己理解】	・織田幹雄の生き方を自分の経験を重ねながら考えるを通して、より深く自己を見つめたり、人々に学んだことを紹介することの楽しさや喜びを通して、自己の成長に気づき、次の学習へ学びをつなげようとしている。	・織田幹雄の生き方を自分の経験を重ねながら考えるを通して、より深く自己を見つめ、人々に学んだことを紹介することの楽しさや喜びに気付いている。

本単元で付きたい力

- ・資料を読んで人物の生き方や考え方について考えたことを話し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 **【読むこと オ】**
- ・人物を紹介するリーフレットを作成するために、複数の資料や本を選んで比べて読むことができる。 **【読むこと カ】**
- ・読み手の関心を喚起させたり、織田幹雄の生き方や考え方を効果的に伝えたりするために、見出しや全体の構成の効果を考えることができる。 **【書くこと イ】**

言語活動

海田町出身の日本人初の金メダリスト「世界人『織田幹雄』」を紹介するリーフレットを作成する。

「課題発見・解決学習」の過程（19時間）

学 習 活 動	育成したい資質・能力
国語 （5月） ○ふるさと館に展示されている昨年度の学習の成果物を見学し、織田幹雄や本単元に対する興味をもつ。	
道徳の時間 ○道徳の時間において、資料「強いものは美しいー日本人初の金メダリスト 織田幹雄ー」【価値項目1ー（2）】の学習を行い、織田幹雄の思いに共感する。	
課題の設定（2） ○海田町出身の日本人初の金メダリスト織田幹雄について関心を高める。 ・「ふるさと館」のパネル展示の見学を振り返り、先輩の学習を引き継ぎながら、「織田幹雄」の学習に挑戦しようとする意欲をもつ。 ・織田幹雄について知っていることを出し合い、これからの学習でどのようなことを紹介すればよいか内容を考える。 ・昨年度の学習を引き継ぎ、より多くの人々に海田町出身の「世界人『織田幹雄』」を紹介する方法を考え、本単元の学習課題を立てる。	織田幹雄の資料の並行読書 主体性

学 習 活 動	育成したい 資質・能力
○学習の見通しを立てる。 ・教材文「手塚治虫」を基に、人物の生き方や考え方を紹介するために必要な観点（人物のあゆみ、生き方に大きく影響を与えた出来事、効果的な表現方法）について考える。 ・ゴールの見通しをもち、学習計画を立て、単元で付けたい力について考える。	主体性 自己理解
情報の収集（３） ○人物のあゆみを年表にまとめる。 ・教材文「手塚治虫」を時系列で読んで年表にまとめる。①	主体性
○人物のあゆみを年表にまとめる。② ・複数の資料を読み、織田幹雄のあゆみを年表にまとめる。 ・完成した年表をもとに、それぞれの出来事を関連付けながら、織田幹雄の生き方をいくつかの時代に分ける。	主体性
整理・分析（６） ○人物の生き方や考え方について考える。 ・教材文「手塚治虫」を基に、人物の生き方に大きく影響を与えた対象との出会い、取り組んでいく上での困難や挫折、選択を迫られる岐路などの出来事について考える。	思考力
・織田幹雄に関する資料や年表を基に、織田幹雄の生き方に大きく影響を与えた対象との出会い、取り組んでいく上での困難や挫折、選択を迫られる岐路などの出来事について「お魚ボーン図」を用いながら考える。② 【本時】 1 / 2	思考力
○伝記には、人物を紹介するために効果的な表現方法があることをとらえる。 ・教材文「手塚治虫」を読んで、様々な言葉の使い方により、人物を紹介する方法が違うことをとらえる。 ・織田幹雄を紹介する時に参考になりそうな表現を見付ける。	主体性
○織田幹雄の生き方や考え方について、紹介文にまとめる。② ・紹介したい人物像や人物が大切にしてきたことは何かを「ピラミッドチャート」を使い考える。 ・織田幹雄研究家のアドバイスを参考にしながら、織田幹雄についての紹介文の下書きをする。	思考力
まとめ・創造・表現（６） ○「世界人『織田幹雄』」の紹介文を仕上げる。② ・下書きを視点（事実を正確に書いているか、生き方や考え方を多面的に伝えているか）に基づいて推敲し、紹介文の清書をする。 ・読み手に興味をもたせたり、織田幹雄を効果的に伝えたりするための見出しや構成などについて考え、紹介文の見出しやリーフレットの題を考える。	思考力
○織田幹雄の生き方や考え方を表す一文字を考える。② ・織田幹雄の生き方や考え方を表す事実やエピソードと関連付けながら、人物の生き方や考え方を表す一文字を「ピラミッドチャート」を用いながら考える。	思考力
○「世界人『織田幹雄』」の紹介リーフレットを作成する。② ・「世界人『織田幹雄』」の紹介リーフレットを自分のものの見方や考え方を交えながら作成し、完成させる。	思考力
振り返り（２） ○完成した「世界人『織田幹雄』」のリーフレットの交流を行う。 ・作品を読み合い、友達の作品の工夫を見付け、作品の評価を付箋に書く。	自己理解
学びのモニタリング ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・「世界人『織田幹雄』」のリーフレットを作ることを通して、考えたことを話し合い、自己の見方や考え方の高まりに気付く。 ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点でノートや作品を基に自らの学びを振り返る。	自己理解

織田幹雄の資料の並行読書